

8.備中松山城(岡山) 岡山県高梁市内山下 1

全国で最も高い所にある山城で鎌倉時代中期に建てられ、現在の城郭は1683年に修築されたもの。鎌倉時代から戦国時代には「戦のための城郭」として、江戸時代には「備中松山のシンボル」として、備中の拠点としての役割を果たしてきた。一般的に備中松山城として認識されているのは、標高430mの小松山にある近世城郭部分であり、ここは中世城郭であったお城を近世城郭に改築したものです。天守をはじめ二重櫓や土塀の一部が現存し曲輪(くるわ)や堀切(ほりきり)が残る「中世城郭」と建物や石垣・土塀が残る「近世城郭」の両方を兼ね備えているが、“雲海に浮かぶ天空の山城”として有名な城。(同パンフ)



天空の山城



天守



天守内部



石垣(秋の紅葉時期がお勧め)



現在の城主